

# 認知症初期集中支援チーム員 としての活動について

社会福祉法人昭徳会  
特別養護老人ホーム安立荘  
則竹宏亮

# 1. 認知症施策推進大綱における 認知症初期集中支援チームの位置づけ

## 認知症施策推進大綱（期間：2025年まで）

### 【基本的考え方】

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」※を車の両輪として施策を推進

※「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味

### コンセプト

- 認知症は誰もがなりうるものであり、家族や身近な人が認知症になることなども含め、多くの人にとって身近なものとなっている。
- 生活上の困難が生じた場合でも、重症化を予防しつつ、周囲や地域の理解と協力の下、本人が希望を持って前を向き、力を活かしていくことで極力それを減らし、住み慣れた地域の中で尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けることができる社会を目指す。
- 運動不足の改善、糖尿病や高血圧症等の生活習慣病の予防、社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持等が、認知症の発症を遅らせることができる可能性が示唆されていることを踏まえ、予防に関するエビデンスを収集・普及し、正しい理解に基づき、予防を含めた認知症への「備え」としての取組を促す。結果として70歳代での発症を10年間で1歳遅らせることを目指す。また、認知症の発症や進行の仕組みの解明や予防法・診断法・治療法等の研究開発を進める。

（出典：「認知症施策推進関係閣僚会議」資料 2019.6.18 より一部抜粋）

# 認知症施策の5つの柱

①普及啓発・本人発信支援

②予防

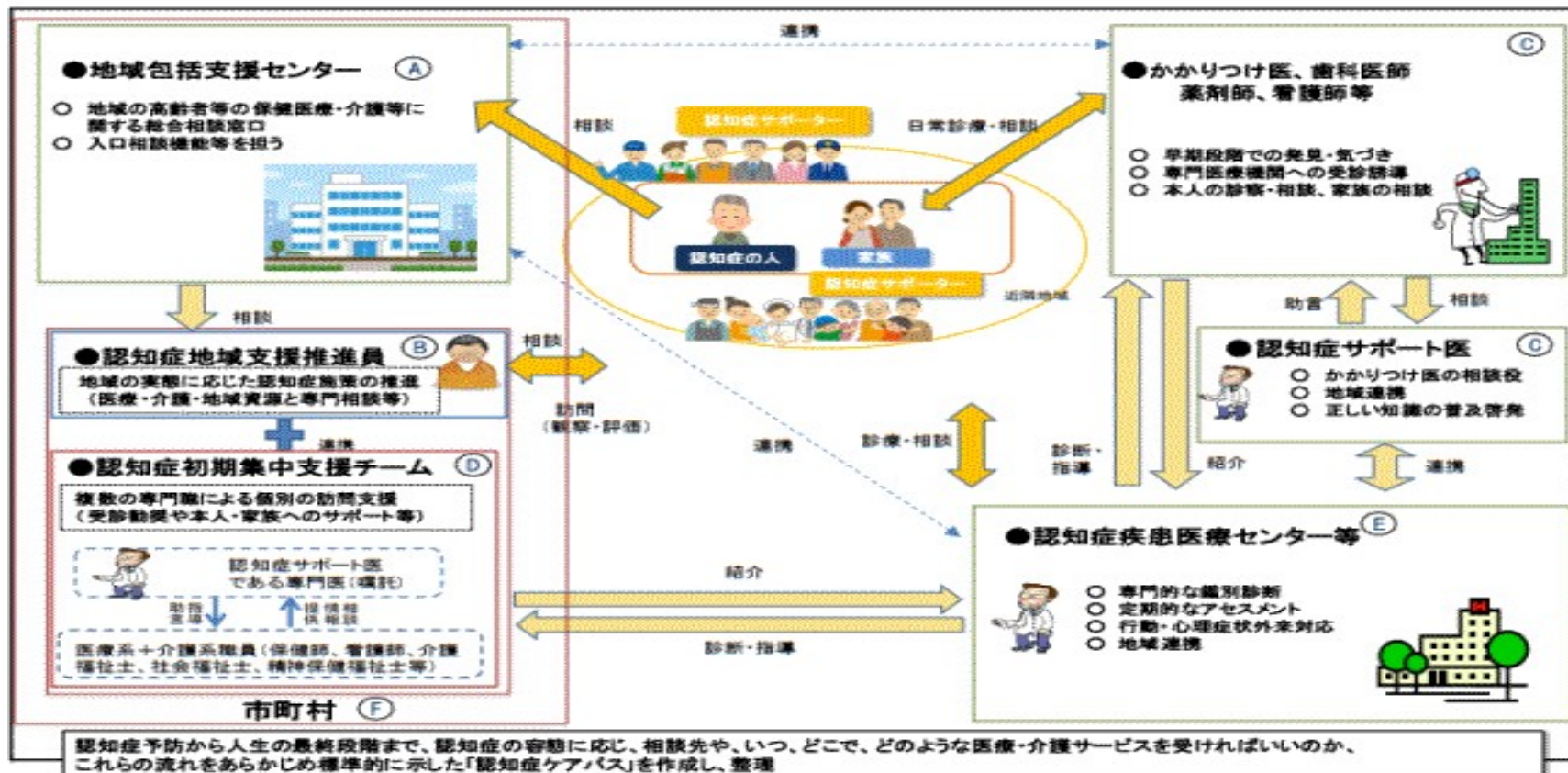
③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援  
社会参加支援

⑤研究開発・産業促進・国際展開

# 1. 認知症施策推進大綱における 認知症初期集中支援チームの位置づけ

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供



# 認知症施策推進大綱の進捗状況 認知症施策推進関係閣僚会議（R4.12.23）

## 【目標】

初期集中支援チームにおける訪問実人数  
全国で年間40,000件（厚生労働省）

【実績】 16,400人（2021年度末）結果C

2025年までの6年間のうち3年目の達成状況が60%未満

# みよし市の紹介



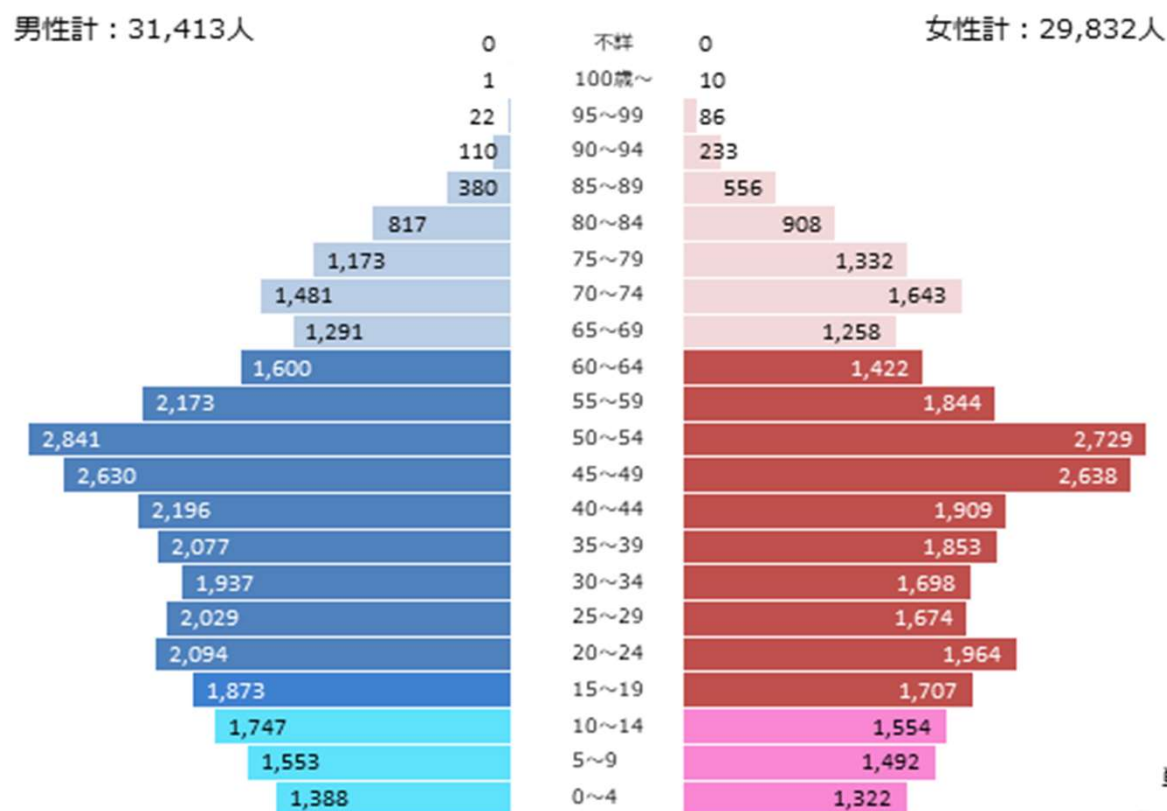
令和5年8月5日  
三好池まつり



令和5年8月19日  
三好いいじゃんまつり

## 2. みよし市の現状①

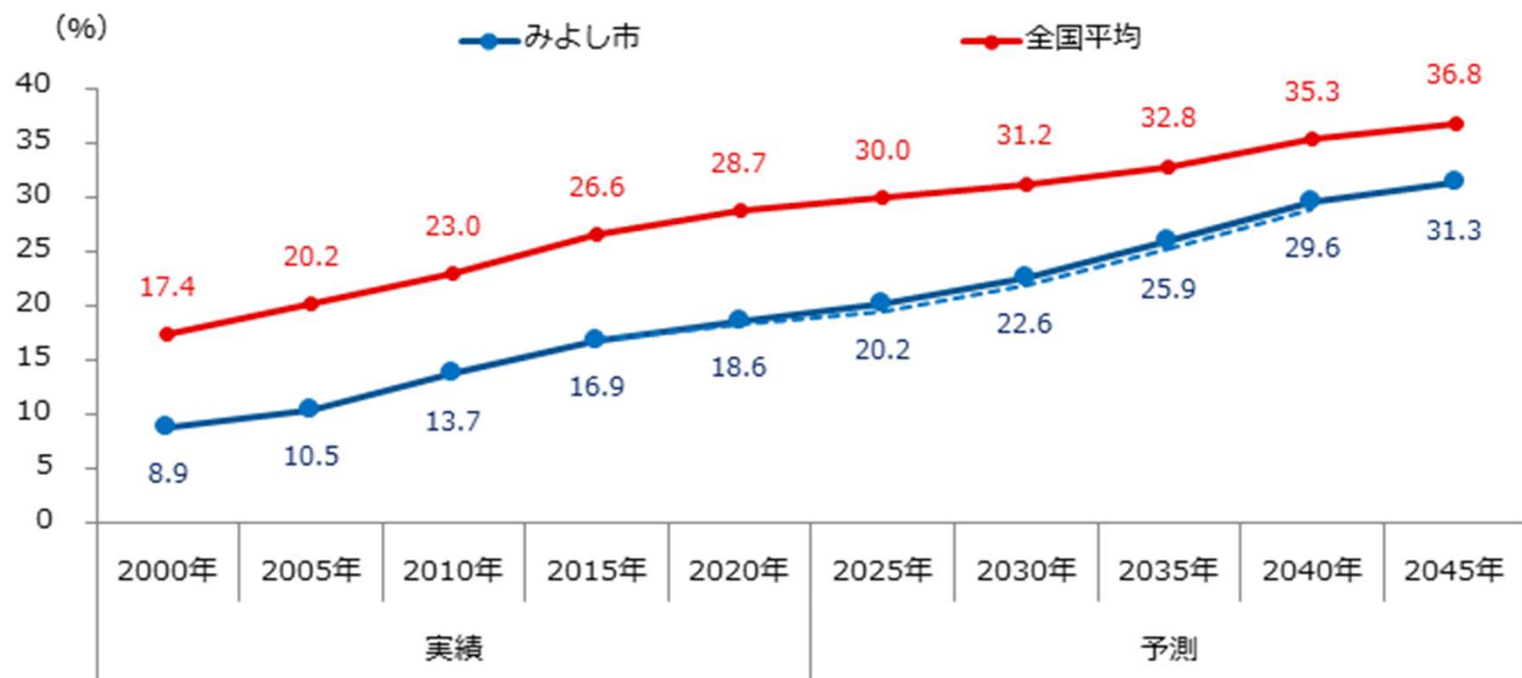
みよし市の2022年1月1日の人口構成 (住民基本台帳ベース, 総人口)



単位：人  
© jp.gdfreak.com

## 2. みよし市の現状②

みよし市の高齢化率の推移



※高齢化率：総人口にしめる65歳以上の人口割合（%），年齢不詳を除いて算出



※図中の緑の点線は、前回2013年3月公表の「将来人口推計」に基づく当地域の高齢化率



# 3. みよし市認知症初期集中支援チーム



**認知症**のお悩みは  
**地域包括支援センター**にご相談ください。  
 認知症初期集中支援チームが支援します。

**【相談例1】**

家族  家族が認知症かもしれない・・・。  
 病院に行きたくないみたいで、困っている。  チーム員

どうしたらご本人が病院に行ってくれるか、  
 一緒に方法を考えます。

**【相談例2】**

家族  介護が大変で話を聞いてほしい。  チーム員

対応で困っている事をお聞きして  
 対応方法やサービス利用をお伝えします。

※右側のチーム員は、認知症初期集中支援チーム員を指します。

◆みよしの地域包括支援センター◆ 市外局番：0561

(三好丘中学校区) <b>おかよし地域包括支援センター</b> ☎ 33-4177 月～金 午前9時～午後5時45分 (祝日及び年末年始は除く)	(北中学校区) <b>きたよし地域包括支援センター</b> ☎ 33-0791 月～金 午前8時30分～午後5時30分 (祝日及び年末年始は除く)
(三好中学校区) <b>なかよし地域包括支援センター</b> ☎ 34-6811 月～金 午前8時30分～午後5時15分 (祝日及び年末年始は除く)	(南中学校区) <b>みなよし地域包括支援センター</b> ☎ 33-3502 月～金 午前8時30分～午後5時15分 (祝日及び年末年始は除く)

- 医療・介護・福祉の専門職（看護師・保健師・社会福祉士・ケアマネジャー等）が対応します。
- 相談料は無料です（電話の場合、通話料がかかります）。
- ご相談の際は事前にご連絡ください。

**認知症初期集中支援チームが認知症の方と  
 そのご家族を支援します。**

**認知症初期集中支援チームとは？**

認知症専門医（サポート医）と医療・介護・福祉の専門員がチーム員となり、認知症の『早期発見・早期対応』を目的として活動する認知症専門チームです。



**どのように活動をするのか？**

みよし市内にお住まいの認知症の方（疑いのある方）のご自宅を訪問して、心配なこと、困っていることなどのお話を伺い、今後の対応などをご本人、ご家族と一緒に考えます。必要に応じて、医療・介護サービスに関する情報提供や助言を行います。

★ **認知症初期集中支援チーム 支援までの流れ**



認知症専門医の  
 認知症初期集中支援センターへご相談ください

### 3. みよし市認知症初期集中支援チーム

#### 【開催頻度】

毎月1回(第3火曜日:14時から15時半)

現在はウェブにて会議を開催

#### 【構成員】

認知症サポート医 薬剤師 リハビリ専門職

障がい者相談支援専門員 看護師 保健師

地域包括支援センター職員(社会福祉士)

チーム員(介護福祉士) 精神保健福祉士

# 3. みよし市認知症初期集中支援チーム

【事例1】 地域包括職員とチーム員担当

**家族構成**：兄夫婦、甥夫婦、甥の子供、本人（A様：女性）

**A様**：認知機能の低下が顕著となり①同じことを聞く②大声を出す  
③自身の言動や行動を忘れる④夜中に何度も起きる

DBDが40点 Zaritが30点 DASCが66点 身体の様子チェック表

**方針**：経済基盤の整備

同居家族の身体的・精神的負担の軽減  
必要な介護保険サービスの調整

### 3. みよし市認知症初期集中支援チーム

【事例2】 チーム員2名（男性2名）担当

**家族構成：**夫と二人暮らしのA様（要介護1）

アルツハイマー型認知症と診断。内服は夫が管理しているので飲み忘れなどはない。終日夫と一緒に過ごしているが、一人にできないことから夫のストレスが増えている。介護サービスを考えているが、本人が頑なに拒否。

DBDが25点 Zaritが27点 DASCが63点

**方針：**夫の介護ストレス軽減

A様と夫が離れて過ごす時間を調整する

夫の相談に対応する

# 家族のたどる心理ステップ

## 第1ステップ まさかそんなはずはない どうしよう

### 驚愕・とまどい

おかしい行動に少しずつ気づき始め、驚き、とまどう。

### 否定

周囲にはなかなか理解してもらえない。  
介護者自身も、病気だということを納得できないでいる。

## 第2ステップ ゆとりがなく追いつめられる

### 混乱

認知症の症状に振り回され、精神的・肉体的に  
疲労困ぱいする。やってもやっても介護が空回りする。

### 怒り・拒絶・抑うつ

「自分だけがなぜ…」 「こんなに頑張っているのに…」  
と苦労しても理解してもらえないことを腹立たしく思う。  
認知症の人を拒絶しようとする。そんな自分がいやになる。

(必要に迫られ、認知症や介護サービスに関する情報を手当たり次第に探し求めはじめる。)

第2から第3に上がるには、とても時間がかかる

## 第3ステップ なるようにしかならない

(介護サービスを使うなどして生活を建て直し始める。)

### あきらめ

怒ったりイライラしても仕方ないと気づく。

### 開き直り

なるようにしかならないと開き直る。  
自らを「よくやっている」と認められるようになる。

### 適応

認知症の人をありのままに受け入れた  
対応ができるようになる。介護に前向きになる。

## 第4ステップ 認知症の人の世界を認めることができる

### 理解

認知症の症状を問題と捉えなくなり、  
認知症の人に対するいとおしさが増してくる。

## 第5ステップ 人生観への影響

### 受容

自分なりの看取りができる。  
介護の経験を自分の人生において  
意味あるものとして位置づけていく。

## 見極めポイント

他人には知られたくない

要介護者のペースに振り回される  
介護者自身は被害者意識が  
強くなる

(いいかげんにして欲しい!!)  
●虐待(暴力・暴言・放任など)  
をしてしまう  
まだ受診をしていない人も  
いる

介護者のペース、自分の力量に  
あわせうまくできるようになる

●なんとか折り合いをつけら  
れる  
●手抜きの介護 60%介護が  
出来るようになる

●相手の気持ちを深く理解  
しようとする

●自分自身への深い理解、自分  
の経験を社会に生かそうと  
する

### 3. みよし市認知症初期集中支援チーム

#### みよし市認知症初期集中支援チームの支援実績

年度	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
件数	7	6	6	7	5	3	3

みよし市の認知症初期集中支援チームの支援目標は12件

# 3. みよし市認知症初期集中支援チーム

## 【課題】

- ①目標相談件数の12件に届いていない状況  
⇒チラシやリーフレットを活用して支援方法を見える化する
- ②市民やケアマネ等の支援者が認知症初期集中支援チームについて何をしてくれるチームかを把握できていない  
⇒地域包括支援センターより、小さな困りごとの事例も挙げてもらう
- ③チーム員として「このような対応であれば支援できる」といった内容をもっと積極的に挙げていく  
⇒介護者からのBPSD等の対応方法、介護の方法についての相談があれば個別に対応できる体制を構築していく

ご清聴ありがとうございました